

公益財団法人伊藤忠兵衛基金

2024年度 事業報告書

(2024年8月22日～2025年3月31日)

1. 公益目的事業

① 奨学金給付事業

- ・ 目的：我が国の学術及び文化に関する事業の振興に資することを目的とし、人材を養成するため、学費の補給を行う。
- ・ 概要：補給期間は1年間とし、京都府・滋賀県・岐阜県・愛知県から以西に所在の国立大学大学院36校に在籍する学生で総長等の推薦を受けた者に対して、1人当たり年額50万円を支給する。助成の決定にあたっては、学識経験者を含む選考委員2名以上により、当財団の助成趣旨に相応しい申請内容かどうか審査を行う。採用された者には研究成果報告書を提出してもらい、学費補給の成果を確認する。
- ・ 応募：19校（熊本大学・九州大学・佐賀大学・琉球大学・宮崎大学・鹿屋体育大学
広島大学・岡山大学・愛媛大学・鳥取大学・大阪大学・京都大学
奈良女子大学・兵庫教育大学・滋賀医科大学・岐阜大学・名古屋大学
名古屋工業大学・三重大学）
- ・ 総額：950万円（19校 × 50万円）

② 児童教育助成事業

- ・ 目的：我が国の将来に寄与する為、教育・スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を滋養することを目的とする。青少年の健全な育成に寄与する学校教育に対して助成金を支給する。
- ・ 概要：京都府・滋賀県・岐阜県・愛知県から以西に所在で創立100年以上の私立小学校に対して助成金を支給する。助成期間は1年間とし、助成金額の総額は概ね年額1,000万円以上3,000万円以下の範囲とする。助成の決定にあたっては、学識経験者を含む選考委員2名以上により、当財団の助成趣旨に相応しい申請内容かどうか審査を行う。助成後、助成金の使途について報告書を提出してもらい、青少年の健全な育成に寄与しているか確認する。
- ・ 応募：1校 学校法人甲南学園 甲南小学校
- ・ 総額：3,000万円（A+B）
A：設備費総額：1,007万6,000円の内1,000万円 助成

設備備品費：935万円 体育館空調改修工事
消耗品費 ：72万6,000円 エアコンレンタル・体育館壁穴工事

設備目的：夏期 猛暑による熱中症アラート等での体育・行事等が困難の場合、
体育館に空調設備を整えることにより体育授業等を体育館での室内に
切り替えることで、児童の安全を確保し体育教育等を円滑に実施出来る
体制を整える。

設備方法：体育館に夏場の期間にエアコン3台をレンタルし設置する。それに伴い
体育館にエアコン用の電源配線が無い為、キュービクルからの配線工事
から実施する。

B：国際理解力養成費総額：1,992万4,000円

総額費用：2,028万4,000円の内2,000万円 助成

消耗品費：85万6,000円（英語授業・海外交流分等）

旅 費：367万5,000円

（豪州訪問費308万円＋ケンブリッジ大学来訪費用59万5,000円）

人件費 ：1,416万8,000円

常勤英語教師人件費1名＋英会話教室講師人件費3名

その他 ：海外姉妹校交流アレンジ委託費70万9,000円＋日本文化学習授業
87万6,000円

方法①：英語・英会話の時数を週1時間増やしたカリキュラムの実施。

結果①：低学年は英語への慣れ親しみ、中高学年はスピーキングやヒアリング等の
基礎を身につける取組が出来た。

方法②：海外交流事業では、6月21日 海外姉妹校アンブローズトレーシーカレッ
ジ校・6月25日～7月5日 第6回甲南ケンブリッジプログラム・
3月19日～27日はオーストラリア海外姉妹2校への訪問交流を実施

結果②：子供達が海外文化にも接する機会を提供

方法③：自国文化理解を目的とした事業を実施

結果③：自国文化の理解を深めることで、小学生の段階で良質な国際理解を身につけ
る。

上記の結果：「健全な常識をもった世界に通用する人材の育成」の実現に繋げる活動を
実施。

③ 医療研究助成事業

・目的：我が国の将来に寄与する為、学術及び文化の研究を奨励援助し、有為な研究者に
対する研究費の助成を行う。我が国にとって早急に研究を進めるべき分野と考え
られる、ワクチン・ガン治療等の研究に対して助成金を支給する。

- ・概要：京都府・滋賀県・岐阜県・愛知県から以西に所在し、核酸化学分野の研究を行う研究者に対して助成を行う。助成期間は1年間とし、助成金額の総額は概ね年額1,000万円以上かつ3,000万円以下の範囲とする。助成の決定にあたっては、学識経験者を含む選考委員2名以上により、当財団の助成趣旨に相応しい申請内容かどうか審査を行う。採用された研究者には研究成果報告書を提出してもらい、研究の成果を確認する。世界的にも研究が注目されている核酸化学分野への助成を通して、遺伝子を原因とした患者への新薬誕生に貢献できるよう事業を展開する。
- ・応募：1校 学校法人甲南学園 甲南大学
先端生命工学研究所 特別客員教授 杉本 直己
- ・目的：「ヒトとがん遺伝子およびウイルス遺伝子を標的とした先制核酸医工学の開発～がん遺伝子の構造予測パラメータの開発～」
- ・方法：がん等の疾患の発症に関与する「遺伝要因」と「環境要因」を明らかにし、疾患の発症を抑制する新たな技術（SNAPScontrol）を確立するため下記（1～3）研究課題を複数年で段階的に遂行する。
 1. SNAPS から疾患発症機構を「知る」
 2. SNAPS を調整し得る STArmaterial を「創る」
 3. SNAPScontrol で疾患発症を「制す」

2024年度はSNAPSを知るために、がん細胞内でSNAPSに関わる核酸の構造形式を予測するためのエネルギーパラメーターの構築および細胞内での核酸の構造及び安定性解析の開発を行った。
- ・結果：「水和パラメーター」は細胞内における偏った配列の役割を明らかにし、がんやウイルス遺伝子を標的にした薬剤や核酸医工学材料の開発に有効であることを証明した。
 - ：クラウドニング条件下でのDNAの水和の効果を定量化することは、がんの進行などのように細胞内の化学的環境が変化する中で、DNAの安定性を正確し、その機能を実現するために有用であると期待。
 - ：非二重らせん構造が細胞内でダイナミックに形成（解離）できる配列は、これまで機能未知の配列であったが本研究によって、細胞の恒常性を維持するための重要な配列である可能性が示唆された。したがって今後は標準的な非二重らせん構造を形成する配列以外にも幅広く検討を行い、SNAPSの統合的な理解と制御へ向けて検討を進める
- ・総額：2,000万円（A+B）
A：設備備品費：747万210円

・紫外可視分光光度計

334万1,800円

・ HPCOMPUTER 一式	4 5 万 7, 7 1 0 円
・ Locator4PLUS	7 6 万 5, 6 0 0 円
・ VesiclePREpro 一式	1 1 6 万 5 0 0 円
・ Milli-QRSQ240C 一式	1 2 2 万 7, 6 0 0 円 (2 台分)
・ iBiot3WesternBiotTransferDevice	2 9 万 7 0 0 0 円
・ iBindFlexWestenDevice	2 2 万円

B:消耗品・旅費・謝礼金：1,252万9,790円

消耗品費：合成DNA、試薬、細胞精製キット等：331万5,402円

旅費：国内・国外出張費：177万1,620円

謝礼金：人件費、講演者への講演謝礼金：380万64円

その他：学会参加費、シンポジウム開催関連費用等：364万2,704円

④ 公益法人助成事業

・ 目的：我が国の将来に寄与する為、公益法人に対して助成を行う。当財団設立者の出生地にて、長きにわたり公益事業を展開してきた助成対象法人の歴史に鑑み、公益事業の継続的な実施に貢献していく。

・ 概要：助成対象は公益財団法人豊郷済美会とする。助成期間は1年間とし、毎年申請を要するものとする。助成金額は、概ね年額100万円以上1,000万円以下の範囲とし、応募は、公益法人に対して事前に案内を通知し、当財団へ申請書を提出してもらうことで完了とする。

助成の決定にあたっては、学識経験者を含む選考委員2名以上により、当財団の助成趣旨に相応しい申請内容かどうか審査を行う。助成後、助成金の使途について報告書を提出してもらい、助成金交付の成果を確認する。

・ 対象：公益財団法人豊郷済美会

・ 総額：370万4,000円

町内すべての学校対象

教育振興費：豊日中学校 50万円

：豊郷小学校 50万円

：日栄小学校 50万円

：豊郷幼稚園 30万円

：愛里保育園 30万円

：崇徳保育園 30万円

奨学金事業：高校生 96万円（対象：豊日中学校卒業生）

豊郷町スポーツ少年団 25万8,000円

アザックとよさとスポーツ 8万6,000円